

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案資料等について評価の視点をもとに評価した点を合計したものを審査点（100点満点）とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案が複数ある場合は、審査員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の1名以上が内容点の評価項目のうち1項目でも評価点0点とした場合または審査点が50点未満の場合は失格とする。

1. 評価項目等

評価項目、評価の視点及び配点は、次のとおりとする。

評価項目			評価の視点	評価点 (5点満点)	係数	配点 (配点×係数)
取組の実現性	経営状況 業務実績等	①	・会社規模、財務状況、業務実績などから業務の執行に支障はないか。	5	2	10
業務実施体制	本業務遂行のための体制	②	・仕様書記載の業務を遂行するための体制は確保されているか。 ・業務のスケジュール提案について、実現可能なものとなっているか。	5	2	10
企画提案内容	企画全体設計	③	・提案内容全体を通して、業務の目的や内容を理解し、目的達成のために効果的な企画設計となっているか。	5	3	15
	展示企画・制作	④	(現代美術作家の選定) ・提案作家は、仕様書の内容を満たしているか。 (新奇性・先進性) ・県の従来の取り組みと比して、新奇性・先進性のある取り組みとなっているか。	5	5	25
	関連イベント提案	⑤	(明確性) ・イベントの主な対象、目的、方法が明確に提案されているか。 (新奇性・先進性) ・県の従来の取り組みと比して、新奇性・先進性のある取り組みとなっているか。	5	3	15
	広報提案	⑥	(明確性) ・内容、時期、メディアの選択とその理由が明確に提案されているか。 (新奇性・先進性) ・県の従来の取り組みと比して、新奇性・先進性のある取り組みとなっているか。	5	3	15
	見積額	⑦	・業務内容に照らし、見積額や積算内訳は妥当か。	5	2	10

[審査点 合計100点]

2. 評価の基準

各評価項目の評価点は、5点満点（最高得点5点、最低得点0点）とする。

- ・特に優れている (5点)
- ・優れている (4点)
- ・普通（基準点） (3点)
- ・やや劣る (2点)
- ・劣る (1点)
- ・要求水準を満たしていない (0点)